



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ラバブルマーケティンググループ 上場取引所 東
 コード番号 9254 URL <https://lmg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部管掌 (氏名) 竹内 美稀 (TEL) 03-4567-6399
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	988	—	149	—	136	—	72	—
2021年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 74百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	60.77	57.17
2021年3月期第3四半期	—	—

※ 1. 2021年3月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年3月期第3四半期の数値及び2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 2021年12月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2022年3月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,202	432	34.7
2021年3月期	782	108	12.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 417百万円 2021年3月期 96百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	34.9	111	—	105	—	66	—	53.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「会計方針の変更」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,396,275株	2021年3月期	1,181,275株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	一株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	1,190,656株	2021年3月期3Q	一株

(注) 2021年3月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、当該四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は内外の情報変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が国内では一時的に沈静化し、経済の回復が期待されたものの、変異株の出現による感染再拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。当社グループが事業を展開するデジタルマーケティング領域におきましては、従来からの市場成長に加え、オフラインからデジタルへの移行が加速しており市場環境は当社グループの事業に追い風となっております。

このような事業環境の中、当社グループでは「運用支援」、「運用支援ツールの提供」、「教育」といった当社グループ独自のソリューションを強みに、企業のマーケティング活動を総合的に支援してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は988,878千円、営業利益149,411千円、営業外費用として株式交付費5,000千円、株式上場費用6,403千円が発生したことにより経常利益136,384千円、親会社株主に帰属する四半期純利益72,361千円となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

① SNSマーケティング事業

SNSマーケティング事業は「運用の支援」「運用支援ツールの提供」「教育」を3本柱とした事業を展開しており、これらのソリューションは相互補完しながら循環成長するビジネスモデルです。企業のSNSアカウントの戦略策定からアカウント開設、運用代行、コンテンツ制作、キャンペーンの企画・運用、広告出稿、レポート作成、効果検証までワンストップでサービスを提供する「SNSアカウント運用支援サービス」、SNSマーケティングの運用を効率化する「SaaS型のSNS運用支援ツールの開発・提供」、SNSに関するノウハウやリスク対策を体系化した検定講座を提供する「人材教育サービス」をしています。

当第3四半期連結累計期間におきましても、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響でリモートワークや自宅での時間が増えたことから、SNS利用時間や接触時間が増加しており、企業のデジタルマーケティングにおいてもSNSマーケティングの重要性は高まっております。そのため新規運用案件の受注が好調に推移したほか、SaaS型のSNS運用支援ツールの導入件数も拡大いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高（「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高（以下同じ））は936,016千円、セグメント利益は371,690千円となりました。

② マーケティングオートメーション事業

マーケティングオートメーション、営業支援システム、顧客管理システムの3つのクラウドサービスを用いて、顧客の経営課題に沿った戦略策定やプロセスの設計、最適なテクノロジーの選定、運用サポートまでワンストップで支援しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度に引き続き、Salesforceの運用サポートサービスの新規顧客開拓と販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は52,861千円、セグメント損失は9,777千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ423,250千円増加し1,138,617千円となりました。これは主に、新株発行に伴う払込等により現金及び預金が399,639千円、売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が57,421千円増加したこと等によります。固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,102千円減少し64,125千円となりました。これは主に、償却により、のれんが3,417千円減少したこと等によります。その結果、資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ420,147千円増加し1,202,743千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ145,117千円増加し585,384千円となりました。これは主に、課税所得の増加により未払法人税等が52,492千円、決算賞与に対する賞与引当金が70,908千円、「その他」に含まれる未払消費税等が38,038千円増加した一方で、人件費の支給時期を変更したこと等により未払金が35,560千円減少したこと等によります。固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ48,908千円減少し185,121千円となりました。これは借入金の返済により長期借入金が48,908千円減少したことによります。その結果、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ96,209千円増加し770,505千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ323,938千円増加し432,237千円となりました。これは新株発行に伴う払込により資本金及び資本剰余金がそれぞれ124,614千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が72,361千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月21日に公表した予想値を修正しております。詳細につきましては、2022年2月10日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	440,233	839,873
受取手形及び売掛金	213,470	270,892
未収還付法人税等	20,459	7,474
その他	41,275	20,420
貸倒引当金	△72	△42
流動資産合計	715,367	1,138,617
固定資産		
有形固定資産	2,145	1,142
無形固定資産		
のれん	9,113	5,696
その他	1,912	1,376
無形固定資産合計	11,026	7,072
投資その他の資産	54,056	55,910
固定資産合計	67,227	64,125
資産合計	782,595	1,202,743
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,095	45,870
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	57,996	52,832
未払金	85,781	50,221
未払法人税等	18,367	70,859
賞与引当金	-	70,908
その他	30,026	94,692
流動負債合計	440,267	585,384
固定負債		
長期借入金	234,029	185,121
固定負債合計	234,029	185,121
負債合計	674,296	770,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	136,760	261,374
資本剰余金	111,310	235,924
利益剰余金	△151,777	△79,415
株主資本合計	96,294	417,883
新株予約権	2,940	2,940
非支配株主持分	9,064	11,413
純資産合計	108,299	432,237
負債純資産合計	782,595	1,202,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	988,878
売上原価	424,645
売上総利益	564,233
販売費及び一般管理費	414,821
営業利益	149,411
営業外収益	
受取利息	6
印税収入	514
講演料等収入	1,083
その他	315
営業外収益合計	1,919
営業外費用	
支払利息	3,244
株式交付費	5,000
株式上場費用	6,403
その他	298
営業外費用合計	14,946
経常利益	136,384
特別損失	
固定資産除却損	847
特別損失合計	847
税金等調整前四半期純利益	135,536
法人税、住民税及び事業税	72,274
法人税等調整額	△11,448
法人税等合計	60,826
四半期純利益	74,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,361

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	74,710
四半期包括利益	74,710
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	72,361
非支配株主に係る四半期包括利益	2,349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年12月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2021年12月20日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行215,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ124,614千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が261,374千円、資本剰余金が235,924千円となっております

(会計方針の変更)

(「収益認識に関する会計基準」等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

(追加情報)

2021年11月17日に提出した新規上場申請のための有価証券報告書(Iの部)の「追加情報」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	SNSマーケ ティング事業	マーケティング オートメーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	936,016	52,861	988,878	—	988,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,971	3,971	△3,971	—
計	936,016	56,832	992,849	△3,971	988,878
セグメント利益 又は損失(△)	371,690	△9,777	361,913	△212,502	149,411

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,502千円には、セグメント間取引消去△42,364千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△170,138千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。